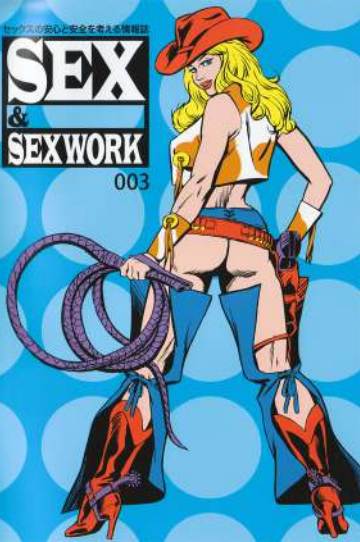




セックスの安心と安全を考える情報誌

SEX & SEX WORK

003





どんな立場であっても、どんな仕事をしていても、どんな場所で暮らっても、セックスする勇気を持って、そして出来るだけ安全なセックスをしたい。

安心、仕事としてセックスする立場であっても、その仕事を誰にも強迫はされていない。アウェイな場所や状況で仕事をしている人も、その仕事や場所から離れても安心して帰ることができる。

「セックス(SXWORK)」は、セックスワーカーを尊ぶてもなくとも、仕事のセックスにも、プライベートのセックスにも役立つ、新たなタイプの情報誌です。

contents 1-2

編集 立川陽
Illustration 渡辺久美
Photo 川崎一太郎

action 3-6

特集1:世界のセックスワーカー会ツアー報告!

Text 立川陽, 渡辺久美
Illustration 渡辺久美

showcase 7

アラビアンナイト

photography 立川陽

column 8

スーパーヘルス日

Text 立川陽, 立川陽
Illustration 立川陽

research 9-12

特集2:最初377人に聞きました!

Text 立川陽, 渡辺久美
Illustration レイ・タカハシ

research 13-14

セックスワークとHIV/AIDS

Text 渡辺久美
Illustration 渡辺久美

巻頭

Illustration 立川陽

この冊子は、愛知労働科学研究機構のエイズ対策事業「国際労働者（外国人労働者に限らず）へのHIV予防とセックスワークに関する研究」の研究成果として、研究員渡辺久美とレイ・タカハシにより作成されました。

セックスの安心と安全を考えるサイト



セックスばっ
sexba.jp
<http://www.sexba.jp/>



HIV情報・検査情報サイト



エイズ予防情報ネット
<http://api-net.jp/or.jp/>



HIV検査・相談マップ
<http://hivkensa.com/index.html>



HIVマップ(東京周辺)
<http://hiv-map.net/>



サポートプロジェクト編
<http://posp.jp/>



MASH大阪
<http://mash-osaka.com/>



プロラ4STD
<http://pro.std-lab.jp/>



CHARM
<http://www.charm-japan.com/>

action

for SEX & SEXWORK

text KANAME YUKIKO (SWASH), PON-PON-MARU
illustrations URAJI SHIKURI

ポルノ会社からの信頼を得ることにつながっている。また、ロサンゼルスでは、セックスワークで警察に捕まると、法廷で HIV 検査済みであったことの証拠が必要になるという。もし HIV 検査をしないで働いていたら罪になる。そのため、AIM で検査したことが証拠として提出されることもあり、この施設は、セックスワーカーにとって健康だけでなく、法的立場の維持においても必要とされている。

警察から身を守るためのスキル SWOP-Tucson

全米各地に支部がある SWOP (Sex Workers Outreach Project) の Tucson 支部 (アリゾナ州) は、警察対策や犯罪に巻き込まれないためのツールが充実している。そこには、過去に Tucson で働いていたセックスワーカーが客に殺されてしまったこと、彼女が助けを求めても対応してくれなかった警察の問題を忘れずに運動の中に刻んでいこうとする SWOP-Tucson メンバーらの固い決意が感じられる。例えば SWOP-Tucson では、セックスワーカーオンリーの、危険な客、店、エリアなどなどの危険情報の交換のためのメーリングリストを設置している。セックスワーカーで、なおかつ ML 加入者の紹介があれば誰でも参加できる。警察に逮捕されたときの対処法についてもくわしいアナウンスがある。具体的には、逮捕時には、警官に対して、自分は無実だということを説得しないこと (あまり効果がないので弁護士に任せるといふこと

が賢明) / 逃げ出すと必要以上に警戒され、逮捕行為は暴力的なものになる / 何も質問されていないうちからべらべらしゃべらないこと、落ち着くこと / どの場所も捜査させないようにすること / 調べられたくない個所の方向をみないこと / 傷害や公務執行妨害などの別の罪を重ねることを避けるため、警官の体を押したり、腕を振り回したりして逮捕を拒否しないこと / 攻撃的な言葉を警官に言わないこと / 警官があなたをしゃべらせるために言う言葉は信じないこと / 家にいるときに警官が来ても、中に入れないこと / 家の外で逮捕されたのなら、服を着たり着替えたり、上着を取ってきたらどうかとか、妻に電話したらどうか等というオファーは断ること。また、「緊急事態対応ワークシート」の作成もワーカーたちに呼びかけている。逮捕された時必要なこと準備リストで、例えば次のようなものがある。弁護士の電話番号を暗記。弁護士に事前伝えておく緊急連絡先の人の名前、電話番号、メールアドレス、子供とペットの情報、緊急時に世話をしてくれる人の名前と連絡先。子供がいるなら、別の紙に、日ごとのスケジュールを作成し、子供の学校等の予定と合わせて更新。逮捕のことを知らせたい人の名前と関係と電話番号、知らせたくない人の名前と関係と理由を書いておく。など、逮捕時の二次被害とも言えるプライバシー対策も視野に入れていく。こうしたツールは日本でも援用できるものなので、ぜひ多くのセックスワーカーに紹介していきたい。

キューバ「国立性教育センター」、ニューヨーク「セックスワーカーズ・プロジェクト」

ぼんぼんまる

プロフィール
ニューハーフダンサー

LGBT の人権活動家 現カストロ議長の娘 マリエラ・カストロ

キューバの「国立性教育センター Centro Nacional de Educación sexual, CENESEX」は、避妊と AIDS に関する教育をキューバ国民向けに行うとともに、LGBT の権利を擁護する活動をしていることで有名で、そのオフィスは市民から「セックス・ハウス」と呼ばれている。センター長を務めるのはマリエラ・カストロで、現国家評議会議長ラウル・カストロの娘 (革命後キューバの代表を務めてきたフィデル・カストロ議長は 2008 年に退任しており、マリエラはフィデルの姪にあたる)。マリエラは「キューバ・セクシユアリティ学際研究所 Cuban Multidisciplinary Centro for the Study of Sexuality」の所長、「性同一性障害の治療に関する国立委員会 National Commission for Treatment of Disturbances of Gender Identity」の委員長、「性の健康のための世界連合 World Association for Sexual Health」の役員をつとめており、また、「AIDS を予防し、共闘・闘争する直接行動グループ Direct Action Group for Preventing,

Confronting, and Combating AIDS」のメンバーでもある。このセンターとマリエラの働きによって、2008 年にキューバの TG は性別再判定手術とホルモン治療を無料で受けられるようになり、また、身分証明書も発行し直してもらえるようになった。このことにより、キューバはジェンダーの問題に関してラテンアメリカでは一番自由で寛容な国になったと言われている。訪問した際、残念ながらマリエラは国外出張中であつたが、若いスタッフが丁寧に話をしてくれた。SWASH の名刺を渡したところ、「センターの活動では SW に対する調査やアウウトリーチにはまだ取り組めていないが、重要な問題として認識しており、今後ほかの国の SW にかかわる活動から学んでいきたい」とのことだ。

コンドーム所持で逮捕されることに反対 Sex Workers Project

NY のワールド・トレード・センター跡地近くの URBAN JUSTICE CENTER に居を構える「セックスワーカーズ・プロジェクト Sex Workers Project, 略称 SWP (スウオップ)」は、セックスワーカーに対する法的サービス、法的トレーニング、政策提言を焦点に当てて活動している。私たちが訪問した日には、普段からここで活動している調査者、レズビアン、SW、サバイバー、弁護士、など 8 人が集まり、去年 NY 州の法律で通らなかった法案と、通った法案について勉強会が開かれていた。

NY では「コンドームを所持していたことを証拠として SW が警察に逮捕される」という状況があるので、「コンドーム所持を証拠にして SW を逮捕することはできない」という法案を SWP が作成・提案したが、通らなかった。



ぼんぼんまる

一方で、SW としての逮捕歴を消すことが出来る法案が通った。アメリカ全土でも初めて通った法案なので、他の州にもよい影響をあたえられる点ではメリットである。しかし、この法が想定しているのは SW を強制されていた人 (例えば注射やドラッグをさせられた人、パスポートを取られた人、人身売買された人、18 歳以下の人) であり、自分の意思で SW をしている人や、TGSW たちが利用出来ないようでは問題がある。また、被害者であっても過去の被害情報や加害者を探し立証するのは難しく、また家族やパートナー、世間に個人情報漏れられないという保証は無いなど、デメリットが多くて、未だに法律を使えた人は少ない。

日本でも…

世界各国のセックスワーカー支援活動、当事者を含むステークホルダーのネットワークのつくりかたはとて勉強になった。日本ではこのような活動をする人がまだまだ少ないから、今回学んだり得られたものを活用していくことで、できることから始めていきたい。日本のセックスワーク、ワーカーに見合ったものを考えないといけないし、同じ志や展望を共有する仲間との出会いをこれからも求めていきたい。

このレポートを読んでくれて、日本でも何かやっていきたいと思ってくれる人がいたら、ぜひ一緒に日本のセックスワークをよりよいものに変えていこう!

■ 参照web site

- NSWP (Global Network of Sexworker Projects) <http://www.nswp.org/>
- Lawyers collective <http://www.lawyerscollective.org/hiv-aids>
- AIM Health Center <http://www.aim-med.org/>
- SWOP-Tucson <http://www.swop-tucson.org/>
- Sexworkers Project <http://www.sexworkersproject.org/>
- Urban Justice Center <http://urbanjustice.org/>
- SWASH <http://swash.sakura.ne.jp/>
E-mail:swash@kitty.jp

